

與謝郡

〔東大寺正倉院文書二十九〕但馬國正稅帳九年○天

賣太政官遞送疫病者給粥糧料符來使單壹拾日將從五日

丹後國與射郡大領外從八位上海直忍立將從一人合二人經二日日別給米三升五合酒一升

〔日本書紀十四〕二十二年七月丹波國餘社郡管川人水江浦島子乘舟而釣○下

〔日本書紀十五〕穴穗天皇○安三年十月帳内日下部連使主○註與其子吾田彥吾田彥使主之子也竊奉天

皇與億計王避難於丹波國餘社郡○下

丹波郡

〔續日本紀三十七〕延曆二年三月庚寅丹後國丹波郡人正六位上丹波直眞養任國造

中郡

〔丹州三家物語〕細川父子丹後國入來之事

一色殿は代々丹後の國主として、一色五郎近年は宮津八幡山に居城たりしが、天正三年、父左京大夫卒去の後、國中の諸士、五郎殿を背き、我々にして曾以不敬時節なれば、本意にはあらねども、流に棹さす心地して、光秀○明が計ひにぞ任らる。中郡竹野郡熊野郡は一色殿、與佐郡加佐郡は細川とさだめ○下

竹野郡
熊野郡

〔東大寺奴婢帳〕丹後國司解 申進上奴婢事

合賤肆人奴二 價稻肆仟束口別一千

婢眞玉女年貳拾陸印目間黒子 價稻壹仟束○中

奴倉人年貳拾陸印左野郡戸主大部廣國之奴 價稻壹仟束○中

天平勝寶元年十二月十九日○署

郷

〔倭名類聚抄丹八〕加佐郡 志樂○高山寺本 高橋 大内 田造○造高山寺本作邊 餘戸 凡海於布之 志

託○高山寺本 有道○高山寺本 川守 神戸

與謝郡 宮津 日置 拜師○高山寺本 物部 山田 謁叡○高山寺本 神戸